



プライベートスクールシナプス株式会社
| 岐阜県大垣市 |

水谷 香織 社長

みずたに・かおり/岐阜県出身。1998年に学習塾を開業。2014年には中小機構「小規模事業者に対する売上拡大支援手法」調査研究対象として1万180社中の10社に選ばれる。16年に法人化。1児の母

人生伴走型学習塾——。 ほかにはない強みで勝負する

25歳で学習塾を開業

旧中山道赤坂宿の街道沿いにある一軒家。ここが、人生伴走型学習塾「プライベートスクールシナプス」だ。一風変わった「人生伴走型」の名は、小中高生の学習サポートに加えて、保護者や既卒生へのコーチング、就職・結婚などの目標達成に向けて、人の人生に寄り添っていく事業の本質を的確に表現している。

「実は人生伴走型と付けてくださったのは、商工会の方なんですよ」

そう話すのは、同塾を経営するプライベートスクールシナプス株式会社の代表取締役・水谷香織。1998年に25歳で開業、今年9月からは25年目をひた走る。起業に掻き立てたのは、中学生のときに思い立った「社長になりたい」という目標と、塾講師時代に経験した「人と人とのつながりの大切さ、おもしろさ」。だが当時、創業支援はほとんどなく、銀行からの融資も叶わなかった。友人との縁で借りられた元寿司店の建物で、塾の看板を掲げて始動した。

他人ごとにはせず全力投球

最初に入塾したのは不登校の中学生だった。「ほかの子と会わないよ

うにしてほしい」という難題にも、知恵を絞り、全力で向き合った。やがて、その生徒は県立高校に合格。高校を首席で卒業後は大学進学、就職、結婚と自分で人生を切り拓いていた。

また、塾生だった生徒が脊椎損傷という重大故に遭ったときは、当初の目標高校受験自体を諦めかけたが、入院中の生徒に家族を通じて指導し、目標高校合格へと導いた。そうした実績は枚挙にいとまがないが、「シナプスならなんとかしてもらえ」という評判と信頼につながった。

「当塾を頼ってくれるということは相当お困りのはず。私も一旦お受けしたら、途中で投げ出すことはありません。たいへんなのは、最初からわかっていることですから」

軽やかに屈託なく話す水谷だが、その覚悟はどこから来るのだろうか。「ひとりでいえば、他人ごとにしな」ということです。人の時間って続いているので、塾、家庭、学校、個人というふうに線引きはできません。だからこそ、その子のバックボーンや悩みを含めて寄り添っていきたいと思っています」

そう答える一方で、こう続ける。「苦労というよりは楽しんでる部分もあります。自分一人の人生なら

そこまでするいろいろなことはないはずですが、こんないろいろなと関わらせてもらっているんですから！」

多くの人が悩む婚活を コーチングで事業化

ただ、水谷自身にも悩みはあった。結婚という人生の問題にぶつかっていたのだ。その後、縁あって39歳で夫と巡り会えたが、外面と内面の相違や自信をもてないことに、人知れず苦悩した経験と解決への手立てを事業化できないかと考えた。「婚活中に学んだコーチングを活用できれば」。

大垣市商工会と県商工会連合会広域支援室の支援を受けて経営革新計画を策定し、2度目の挑戦で承認された。2016年、水谷が独自に開発したコーチング手法を用いて結婚や幸せな生き方を見つけ出すことを核にしたセミナー事業部を設立。個人向け講座のクライアントは次々に結婚し、子どもをもうけ、幸せな人生を歩んでいる。現在、収益の柱は学習塾事業部の中学生部門だが、今後はセミナー事業を企業に向けてさらにアピールしていく。子どもも大人も、自らが行きたい場所に導く。それがシナプスの、そして水谷の人生伴走だ。

(敬称略)



01/2018年に開催した20周年記念パーティー。約500人という教え子たちの多くが集まった。なかには親子で参加した2代にわたる教え子もいる 02/学習塾の現在を支える講師陣。独自の手づくりテキストを使用するなど成績アップの面でも定評がある 03/趣ある宿場町に溶け込むような学習塾。看板、DM、トイレ改修などに持続化補助金を活用した